



県境の不思議

富山大学人文学部 准教授 大西 宏治

『楽しく学ぶ小学生の地図帳』(以下、地図帳)を開くと、1ページ目に「都道府県の区分」についての地図が掲載され47都道府県の県境¹⁾を確認することができます。日本の広がりや地域の特徴を学ぶうえで、47都道府県の位置と県庁所在地の名称を知っていることが、きわめて重要な役割を果たすことを先生方も十分に理解していると思います。さて、都道府県名を取りあげて授業を進めていくとき、都道府県境に対してとても敏感に反応する児童は少なくないでしょう。大人でも境界線になぜかしら心ひかれるものがあります。そこで今回のこのコーナーでは、県境にまつわる話を進めていきます。

1. 都道府県のはじまり

私たちが当たり前と思っている県境はいつからあるのでしょうか。

小学6年生では社会科で歴史を扱うなかで、明治維新に「廃藩置県」(1871年7月)が行われたことを学びます。全国の藩を廃止して県を置き、中央集権的国家をつくりあげようとした。そのときに、北海道には開拓使を置き、東京、京都、大阪は府としました。そして、302県が全国に設置されました。ただ、大小さまざまでしたし、飛び地が錯そうしました²⁾。そこで、府県の統合が進められ、1871年11月までに1使、3府、72県となりました(図1)。

その後も区画は変わり、1888年に1道、3府、43県となりました。このように廃藩置県でまたたくまに47都道府県となったわけではなく、さまざまな経緯があって現在の県境ができています。

さて、この境界ですが、それ以前は律令制による行政区分である畿内七道に分けられていました。都のある周辺を畿内とし、それ以外の地域を七道にまとめていました。畿内や七道は国が集合したもので、国どうしの境目には現在の県境の原型になるものが数多く存在しています(『楽しく学ぶ小学生の地図帳』p.69~70③むかしの境界)。

2. 飛び地の発生

川が県境であったり、山の稜線が県境であったりすれば、「県境は何かの境目で決まる」と容易に理解できます。しかし現実の県境はそれほど単純ではありません。また、古くから同じ境界線を利用しているのかといえれば必ずしもそうではありません。

1) 町田市と相模原市の境界変更

例えば、川を境界線にしようと思っても、河川改修で蛇行していた流路が直線化すると飛び地が発生します。東京都町田市と神奈川県相模原市の間には河川改修の結果、たくさんの飛び地が出ました。それを2016年12月にある程度まで整理しました(図2)。

2) 和歌山県北山村

和歌山県の北山村は村ごと飛び地になっていま

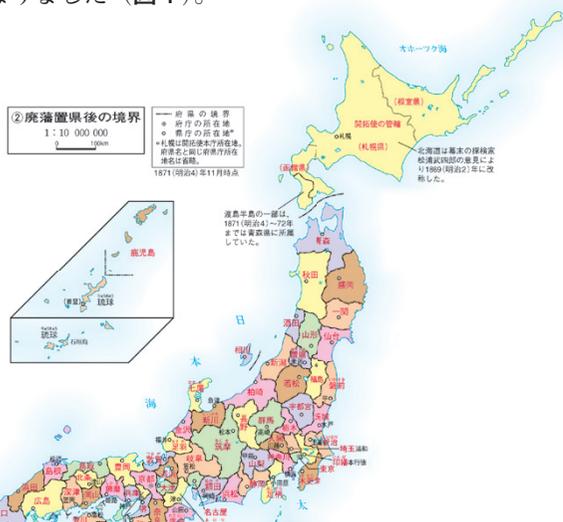


図1 廃藩置県後の境界 『地歴高等地図』p.84 (高等学校用地図帳)

地図・地理豆知識

さまざまな地図活用広場

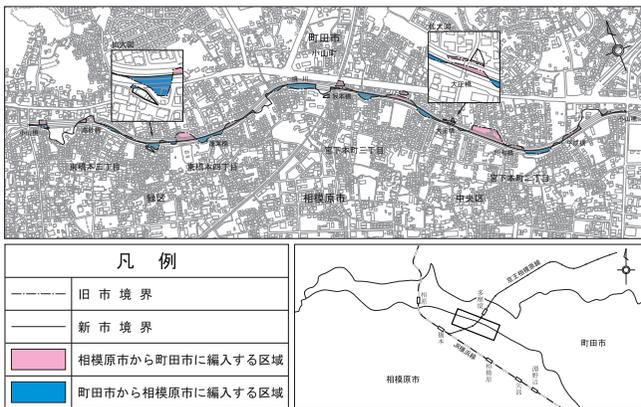


図2 町田市と相模原市の境界変更(相模原市ホームページより)

す(図3)。なぜでしょうか？ もともと、北山村は林業が主産業で、材木をいかだにして下流へ運搬していました。北山川が熊野川(新宮川)に流れ込み、和歌山県の新宮市に到達します。そのため、北山村と新宮市は強いつながりがあり、住民の意思により和歌山県に編入されました³⁾。

しかし、図4をみてください。紀伊の国は和歌山県から現在の三重県の一部を含んでいます。もし紀伊の国がすべて和歌山県になっていたら、飛び地は発生しなかったでしょう。

このように飛び地が生まれるにはさまざまな地



図3 和歌山県の飛び地
『楽しく学ぶ小学生の地図帳』 p.28



図4 むかしの境界(現在の和歌山県周辺)
『楽しく学ぶ小学生の地図帳』 p.69

域の要因があります。それを児童が調べることで、県境にさらに興味をもってもらえるかもしれません。

3. ショッピングセンター内の県境

ショッピングセンター内にも県境があります。奈良県と京都府の県境です。イオンモール高の原店内には県境があります。かつては山林が広がっていたところでした。店舗内をみると、奈良県と京都府の境目が示されていて、簡単に両県をまたぐことのできるユニークな空間になっています(図5)。ショッピングセンターの8割は京都府になっています。税金などは面積で按分しています。事故や事件はどちらが担当するのでしょうか。気になるところです。



図5 イオンモール高の原を通過する県境
(左) 地図(国土地理院電子地形図25000)
(右) 写真(筆者撮影)

県境をみると、その土地の歴史や地域的なつながりがわかります。副読本や学校図書館にある市町村史などを少しだけ開いてみると県境についてのおもしろい話があるはずです。児童と一緒に調べてみてはいかがでしょうか？

- 1) 県と県の境目だけでなく、都と県、府と県の境界も今回は県境とよびます。
- 2) 江戸時代に各藩がさまざまな理由で飛び地をもっていました。
- 3) 西村まさゆき(2018)：『ふしぎな県境-歩ける、またげる、愉しめる』中公新書 中央公論新社

注目!

編集部より

- 大西先生に解説していただきたい地図・地理の疑問を募集します!
- 同封のアンケート用紙、または、指導者専用サイトの「地図・地理豆知識」のコーナーまでお寄せください。